



司辻さん(左)の試作品を手に取り、形や色合いをチェックする友田さん(右)＝13日、越前町小曾原

越前焼工業協同組合が、福井市出身の日本酒き酒師友田晶子さんとのコラボ商品、日本酒専用カップの開発に取り組んでいる。昨春販売し好評だった盃さかづきに続く第2弾。13日には友田さんが試作品を作った越前町の作家の工房を訪れ、形や色などについて話し合った。(川越良夫)

## 日本酒カップ 越前焼で開発へ

き酒師 友田さん

越前焼の特長を生かした薄くて軽い盃は、昨年2月に開催された東京ギフトショーでも高い評価を受けたという。カップ開発はふくい産業支援センターのグループカウンセリング事業の一環。同組合では、ワイングラスの薄さと、土の風合いが感じられ和の雰囲気

## 協組とコラボ、第2弾 越前町訪れ試作確認

を併せ持つカップの開発を進めている。

「湯飲みのような消費者に受け入れられない」などと指摘している。この日のアドバイスを受け、各作家が試作品を作り直し、秋ごろの商品化を目指す。

試作品を製作したのは同町小曾原の司辻健司さんら4人で、1人2〜6種類作った。司辻さんの工房では、友田さんが試作品を一つ一つ手にとって手触りや重さを確かめた。

試作品はどれも厚さが1〜2ミリしかない。底の部分の高台がないものもある。友田さんは「内側が白いと酒の色が分か

## ハナショウブしっとり

